

福島県三島町
広報

平成 27 年 9 月 4 日発行
(毎月第 1 金曜日発行)

Public relations
of Mishima-town,
Fukushima in Japan

みしま

2015

September 9
No. 270

各地の盆踊りが盛大に開催される





「滝谷お盆櫓踊り」大盛況（滝谷地区） 文・写真 町民記者 目黒民一さん（滝谷）

8月13日、滝谷地区で「お盆櫓踊り」が滝谷祭り実行委員会の主催で行われました。お盆に行くのは実に40数年ぶりだそうです。2年前から地区の「若げえてー」が中心となり櫓踊りのお囃子と甚句唄の練習に励んできました。また、今年は宝くじ助成事業で祭り用備品整備が採択になったことにより、お披露目も含めた開催となりました。当日は雨が降ったり止んだりの天候で開催が危ぶまれましたが、「若げえてー」の意気に押されてか？雨雲が何処かへ… 踊りが始まると踊り子の輪も観衆者も例年にない大勢の参加者があり大盛況となりました。また、会場では焼き鳥や生ビール、消防団の店などの出店もあり、会場を盛り上げました。櫓と踊りの一体感とその熱気と歓声に包まれながら地区の人達も帰省客も思い思いに一夜限りの盆踊りを満喫しているようでした。



盆踊りが成功に終わり、全員で記念撮影を行った、実行委員会メンバー

にぎやかふるさとの夏（盆踊りとゆうやけ市） 桧原地区

文・写真 町民記者 佐々木邦雄さん（桧原）



豊年盆踊りの様子

8月14日、桧原地区の分校跡地で、地区奉賛会主催の「豊年盆踊り」と「ゆうやけ市」が行われました。当日はあいにくの雨で中止と思われましたが、午後5時ごろには雨も上がり、「ゆうやけ市」に多くの買い物客で賑いました。今年も模擬店で焼き鳥・焼きそば等6品目が売り出され、盛況のうちに完売となりました。豊年踊りは午後7時から始まり、太鼓や笛の音と共に三島甚句が唄われ、踊りの輪ができ、地区の皆さんと帰省客とが再会を喜びながら、楽しいひと夏の思い出に残る祭りとなりました。

10回目となった早戸温泉神社まつり

文・写真 町民記者 五十嵐信一さん（早戸）

温泉神社まつりは、8月22日に開催されました。準備には数日かかりました。まず、20日から21日まで、会場の特設舞台の設営が行なわれました。担当は、地元の佐久間建設工業(株)様です。22日、午前9時に、企業組合員や出店する店の関係者が集まり、テントを張ったり、机やイスを並べたりする会場準備を始めました。午前10時から、温泉神社で例大祭が行なわれ、青木基重宮司が式典を執り行いました。その後、正午に、まつりの始まりを告げる空砲が上がり、午後2時30分から、中学生が中心メンバーの田島太鼓「龍巳会」による太鼓が披露されました。只見川を背にして並んだ一団の発する力強い音に、会場から惜しみない拍手が送られました。太鼓の次は、ベリーダンスショー、ビンゴゲーム、奉納神楽、歌謡ショー、2回目のベリーダンスショーと続いて最後に、只見川の対岸から、奉納花火が打ち上げられました。打ち上げ直前に、駐車場の2つの照明が消され、とても見やすいものとなりました。「今年もできて良かった。」と、関係者全員が話していました。



田島太鼓「龍巳会」による太鼓の披露

9月

目次

- 2 桐寿苑「夕涼み会」
- 3 町民記者通信
- 4 町民記者通信
- 5 「夕涼み寄席」開催／農道林道の草刈作業（滝谷地区）／早朝に寺院の境内清掃（川井地区）／夏の思い出、カタクリプール大いに賑わいました／「山っ子スクール」開かれる（間方地区）／早起きは三文の得 ～早朝座禅会行われる～
- 6 TownNews みしまの出来事
- 7 消防団による林野火災を想定したポンプ中継訓練／元気にグランドゴルフ楽しむ／大石田福一満虚空蔵堂周辺整備工事完成祝賀会／広報みしま町民記者に中兵一郎 さん、本名と四郎さん／個人県民税優良市町村 知事感謝状受賞／とびだせ！ブッターマン
- 8 みんなの公民館
- 9 マイナンバーについて
- 10 民話・ほめ言葉
- 11 町長日記 / 宮下病院外来看護師のつづやき 他
- 12 国勢調査について
- 13 お知らせ / コミュニティ助成事業
- 14 福島県市町村軟式野球大会 / 第27回ふくしま駅伝
- 15 人と暮らしの風景 齋藤茂樹写真展
- 16 平成27年度三島町成人式

町の人口と世帯

8月1日現在

人口	1,782	-1	出生	2
男	865	-1	死亡	3
女	917	0	転入	4
世帯	799	0	転出	4

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。



ヨサコイ踊りを披露した桐寿苑職員の皆さん



桐寿苑内の様子

8月5日、桐寿苑で「夕涼み会」が開催され、入所者の方々や家族が参加しました。会場内には、かき氷・わたあめなどの模擬店、職員の皆さんがヨサコイ踊り等を披露し会場を盛り上げ、その後、花火を行い、入所者と家族が楽しいひと時を過ごしました。



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



只見川第一鉄橋



夏の思い出、カタクリプール大いに賑わいました 文・写真 町民記者 本名与四郎さん（西方）



目標を立てて頑張る子どもたち

例年、夏休み中に開放しているカタクリプールは、7月24日より使用できるようになり、連日の猛暑で多くの子どもたちの元気な声がプールサイドいっぱいに響き渡りました。また、コースロープを取り付けて、最初の遊泳の時間を活用して自分の目標に向かって練習していました。3年生のK君は、「100メートル泳ぐぞ!」と目標を持ち、見事、完泳することができ、子どもたちの頑張りに驚きをもって見守りました。また、お盆の前後には、お墓参りなどで帰省しているご家族連れの方々もプールに入って楽しむ光景が見られました。8月12日には、午後だけで30名の子どもたちや大人の方がカタクリプールを利用したということでした。

「山っ子スクール」開かれる（間方地区） 文・写真 町民記者 菅家 壽一さん（間方）



志津倉山登山道を歩く様子

8月6日、7日三島町・金山町・昭和村の3公民館の主催による「山っ子スクール」が開催されました。夏の大自然の中で、共同生活や自然体験をとおして、たくましい心と身体を育てるとともに、3町村の子どもたちが交歓しあい友情を深めることを目的に、4・5・6年生を対象に、泊まりがけで毎年実施されているものです。今年は24名の参加があり、大谷川の源流散策を行いました。短い時間でしたが、源流に沿った志津倉山の登山道を歩き、水の循環や水の大切さを学びました。お昼は、おそね清水で、スタッフの方々が準備してくださった流しそうめんをおいしくいただきました。その後、川遊びをしたあと、集会所において、かしや猫伝説の紙芝居を上演しました。夜はキャンプを行い楽しく過ごしました。

早起きは三文の得 ～早朝座禅会行われる～ 文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）

「社会を明るくする運動」三島町推進委員会では、7月の強調月間に合わせ、健全な青少年を育てることを目的として、小学生を対象に座禅会を開きました。午前6時に宮下地区「宮昌寺」に集合し、庭でラジオ体操を行い、その後、場所を本堂に移し、遠藤弘佳住職の指導により座禅や説法も行われました。子ども達はなれない座禅にとまどいながらも一生懸命「めい想」に取り組みました。



座禅する参加者の皆さん

「夕涼み寄席」開催 文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）



西隆寺本堂で開かれた寄席



「三遊亭竜楽独演会」三遊亭竜楽師匠

夕涼み寄席「三遊亭竜楽独演会」は8月20日、西方の西隆寺本堂で開かれました。町内外から落語ファン約70名が訪れました。竜楽師匠は粋な江戸っ子気質の軽妙な語り口で、古典落語の「片棒」「ねずみ」「味噌豆」などを披露しました。また国際派落語家として知られる竜楽師匠は、フランス語、ドイツ語など7カ国語で語り、場内を沸かせました。訪れた皆さんは暑さを忘れ、心ゆくまで落語を楽しんでいました。

農道林道の草刈作業（滝谷地区） 文・写真 町民記者 目黒民一さん（滝谷）

7月26日、地区内の農道林道等の草刈作業を各方面に分かれて行い、その後、県道沿いと河川の草刈作業も併せて行いました。道路に覆いかぶさっていた雑草が刈り除かれ、綺麗になった道もサッパリとした表情に見えました。作業終了後に参加者全員でバーベキュー慰労会が行われ親睦を深め合いました。炎天下の中、大変ご苦労様でした。



県道滝谷松原線草刈作業の様子

早朝に寺院の境内清掃（川井地区） 文・写真 町民記者 角田伊一さん（川井）

8月9日早朝、川井地区の壇信徒は、お盆に行われる施餓鬼会に先立ち、寺院境内等の清掃奉仕を行いました。寺院の境内や裏山には住職が丹精をこめて芝桜やアジサイなどの花木を植栽し、花いっぱいの寺づくりをすすめているので清掃の必要はあまりないようでしたが、歴代僧の墓地や納髪堂周辺には夏草が生い茂っていましたので、丁寧に引き抜き、およそ1時間ほどで作業を終え、その後護持会の会長さんから墓参に用いるカーカンジョのお話を聞き散会しました。15日の盆供養には川井、大登から壇信徒たちが多数参詣に参りました。



寺院境内等を清掃する様子

広報みしま町民記者に中兵一郎さん、本名与四郎さん



広報みしま町民記者の委嘱状交付が7月28日、役場町長室で行われ、今回新たに、中兵一郎さん（大石田）、本名与四郎さん（西方）に矢澤町長より委嘱状が手渡されました。町民記者は現在12名で、地区での話題などを取材し、広報みしまへの寄稿を行います。これにより情報共有を図り、地域の魅力や課題の掘り起しを狙い、地区づくりの支援につなげていきます。



感謝状を手に記念撮影の様子
(左 矢澤町長 右 鏡会津地方振興局長)

個人県民税優良市町村 知事感謝状受賞

8月19日、役場町長室で、平成27年度個人県民税優良市町村知事感謝状伝達式が行われました。三島町の個人県民税徴収率が優秀であることが評価されたもので、伝達式では鏡会津地方振興局長から、お礼の言葉と共に、矢澤町長へ感謝状が贈呈されました。

とびだせ！ブッターマン

8月10日、「げきだんはてな」による演劇が町民センターで開催されました。小学校6年生がボランティアスタッフとして、司会や運営を務め、保育所園児や小さなお子さんを持つ親子の方々が参加しました。楽器を使った音楽・手品で会場の笑いを誘い、また、世界中のけん玉を使った大技を披露し会場内を驚かせました。最後に演劇「とびだせ！ブッターマン」がオオカミから友達を助け、友情を深めたストーリーで、会場内に拍手が広がりました。



楽器を使い参加者を笑わせている様子

消防団による林野火災を想定したポンプ中継訓練を実施



ポンプの操作方法を確認する様子



放水時の様子

消防団訓練は8月23日、宮下地区大谷川河川敷公園で行われ、各班の消防団が集まりました。各班で自動車ポンプや可搬ポンプを持参し、ポンプとホースを中継し放水する訓練を実施しました。万が一の火災に備え各団員は真剣な表情で訓練に取り組んでいました。町から火災を出さないように気をつけましょう。

元気にグラウンドゴルフ楽しむ



小雨の中、元気にプレーする様子

優勝は五十嵐 敏さん

三島老人クラブ主催のグラウンドゴルフ大会は8月21日、町民運動場で開催され、31人が参加しました。小雨が降る中ではありましたが、参加した皆さんは「元気はつらつ」とベストスコアを目指してプレーされました。【上位者5位まで】①五十嵐敏さん（大石田）②川島利吉さん（大石田）③舟木義晴さん（間方）④渡邊房子さん（大石田）⑤目黒一弥さん（滝谷）※なお、2位・3位と4位・5位が同じスコアでしたが、今回は年齢順で最終順位が決定となりました。

大石田福一満虚空蔵堂周辺整備工事完成祝賀会

8月20日、大石田福一満虚空蔵堂周辺整備工事完成祝賀会が開催されました。平成23年度より福島県及び三島町から補助事業として採択を受け、4ヵ年度の補助事業により「大石田地区再生計画」に基づき、福一満虚空蔵堂周辺整備事業が本年度で第1期整備計画の完成となりました。また、祝賀会では、矢澤町長、五十嵐副議長、元会津大学短期大学部森教授が祝辞を述べられました。



整備された参道階段



完成祝賀会の様子

マイナンバー（個人番号）

についてお知らせします

マイナンバーは住民票を有する全ての方に対して、1人1番号のマイナンバーが指定されます。原則として、一度指定されたマイナンバーは生涯変わりません。

国や町などでは、社会保障、税、災害対策の分野で、保有する個人情報とマイナンバーとを紐づけて効率的に情報の管理を行い、さらに個人情報を他の機関との間で迅速かつ確実に情報連携することができるようになります。



平成 27 年 10 月から 12 桁のマイナンバー（個人番号）が通知されます。
・町から、住民票の住所に通知カードが送付されます。
・通知カードを受け取られた方は、同封された申請書を郵送することなどにより窓口で「個人番号カード」を受け取ります。
平成 28 年 1 月からマイナンバーは社会保障、税、災害対策の行政手続きで利用します。
・年金、雇用保険、医療保険の手続、生活保護や福祉の給付、確定申告などの税の手続など、法律で定められた事務に限って、マイナンバーが利用されます。
・民間事業者でも、社会保険、源泉徴収事務などで法律で定められた範囲に限り、マイナンバーを取り扱います。
法律で定められた目的以外でマイナンバーを利用したり 他人に提供したりすることはできません。
・他人のマイナンバーを不正に入手したり、正当な理由なく提供すると処罰されることがあります。
・マイナンバーと結びついた個人情報を保護するため、様々な対策を講じます。

マイナンバーは行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤です。

国民の利便性の向上

添付書類の削減など、行政手続が簡素化され、負担が軽減されます。情報提供など記録開示システムによる情報の確認や提供などのサービスを利用できます。

行政の効率化

行政機関や地方公共団体などで、様々な情報の照合、転記、入力などに要している時間や労力が大幅に削減されます。複数の業務の間での連携が進み、作業の重複などの無駄が削減されます。

公平・公正な社会の実現

所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなり、脱税や不正受給などを防止するとともに、本当に困っている方にきめ細かな支援を行えます。

マイナンバーは一生使うものです。大切にしてください。

☎役場 町民課 ☎（48）5555

みんなの公民館

町史編さん事業を進めています。



大谷地区で開かれた「暮らしと文化を語り合う会」。地区の方々とともに記憶をたどることで、地域に刻まれた歴史が見えてくる。

町では平成26年度から、三島町史編さん事業を開始し、町内外の有識者などで構成される町史編さん委員会が定めた基本方針に基づいて事業を進めています。

本事業では町の歴史や文化を後世に伝え残すため、既存の刊行物にはなかった内容まで広く調査を行い、資料編（文書・集落誌）、民俗編、通史編などを刊行予定です。

昨年から本格的な調査に入り、桑原・河越家文書や大谷・二瓶家文書など江戸時代（近世）の古文書数千点の中から、後世に残すべき史料を数百点選び、町史編さん専門委員による翻刻作業を行うとともに、江戸時代から昭和にかけての当町の様子が分かる史料を町内外から収集しています。

また「集落誌」と題し、集落（地区）ごとの歴史や文化を記録する調査も行っています。これまでに、浅岐・間方・大谷地区において「暮らしと文化を語り合う会」を開き、地区の方々の協力を得て、専門委員による聞き書き調査を実施してきました。

古文書の翻刻作業や聞き書き調査の成果は町史の刊行前にも、広報や講演会などさまざまな場で発表していく予定です。

町史編さん事業の事務局は、交流センター山びこ内に置いています。家に代々受け継いだ古い書物などをお持ちの方は、歴史を語る貴重な史料かもしれませんので、ぜひご連絡ください。

☎ 交流センター山びこ ☎（52）2165

☎ 三島町公民館 ☎（48）5599



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

・ Book Review

●利用時間 月～土 9:00～21:00 日祝 9:00～17:00 ●お休み 年末年始



おにぎり にんじゃ

北村裕花 作
講談社



月の力の ひみつ

関口シュン 作
子どもの未来社



マララ

マララ・ユスフザイ
パトリシア・マコーミック 著
道傳愛子 訳
岩崎書店

のりの衣に身を包んだおにぎりになんじゃは、盗まれた秘伝の書を取り返すために、どんぶり城へ向かいます。とび出す忍法が楽しく愉快な絵本です。

潮の満ち引きはなぜ起こるの？ 月の満ち欠けが生物にどんな影響を及ぼしているの？ たくさん月のひみつについて、かわいいイラストで分かりやすく解説してくれます。

2014年、史上最年少でノーベル平和賞を受賞したマララさんの手記。彼女の力強い生き方とメッセージは、大きな勇気と希望を与えてくれます。

民話



第54話 親ぼうつさまのあめ

元話 故 秦 テイさん（大石田）
故 秦 キノイさん（大石田）
再話 秦 ハルヨさん（大石田）
五十嵐 七重さん（西方）

むかし昔 あったどお。山のお寺さ 親ぼう様ど小坊主ど やったどお
親ぼう様は よぐよぐのけちんぼでらったどお。んじやがら 小坊主さ食い物
くつつやぐなくて、じつき何でも 隠してつけど。
んじやがなあゝ小坊主どきたら、ながながの頭良いがんで 親ぼう様時々
やらつつえまつてだどお。

さで ある日のごどだゝ 親ぼう様、村さでがげでやつたどぎ、水あめ敏さ買っ
てきて、ひとんじえなめつたど。

今日は村の法要さ行がなんねえがら、心配えで心配えで 小坊主呼ぶと

「これはな大事ながな入つてんだがら、いずつてなんねえぞ」つたど

いずつてなんねつて言われつと、いずつつちやくて ふた開けて見たど。

トロ〜ンとした飴だ。小坊主は人差し指でペロ〜ンペロ〜ン なめだ。

「あーんめえ、んめえなあ」んまくて んまくて とうとうかめつこの底ま
で、なめつつまつたど。小坊主は、親ぼう様が帰る前えに本尊様の口さ、ペ
タペタ飴くつつげで置いだどお。

親ぼう様 法要がらもどつてくつと、さつさと流しき行つて

「こおら 大事ながな、にし なめつつまつたなあ」つたど

「いやゝ おらあ 知らねえがらつし」

「何 しやばぐつつちえんだあ。にし なめるほがあんめえ。誰なめる」

親ぼう様 すつかんかんにおごつたどお

「おれではねえだがら、本尊様んねえの。行つてみらんしょ」つたら

「ほゝら 見らんしょ。本尊様さ飴くつついでる」

「馬鹿こけゝゝ本尊様がなめるよゝあつかせえ」親ぼう様おごつたど

「ぼう様、本尊様にそういねえ。悪いごどしたがら、お仕置きに火さあぶつ
て、池さばつこんでみらんつしえ」つたど。

したらば、本尊様「くつた くつた」どつて言つただどお。

ざつとむかし さげえだ

No.2 町長日記 ゝ不易流行ゝ



「祭りの後の寂しさ」という、歌のフレーズを思い出しましたが、お盆が過ぎ
ますと、再び民族の大移動が始まり、「ふるさと三島」にも日常がもどり、あの
賑やかさが恋しくなるのと同時に、何かホッとするのは私だけではないと思わ
れます。

戦後の日本は、毎年・毎年経済成長率の伸びを目標に掲げ、その果実をあま
ねく分配することが、日本を豊かにする唯一の方向性であると考え、経済成長
という価値観を信じ、国民一丸となってその方向に向かって突き進んで来まし
た。際限のない豊かさの追求は、日本に確かな豊かさをもたらしたのは事実であ
ります。しかし、その反面失ったものもあります。特に三島町のような中山間地
域は、人口の急激な移動による、ふるさとの文化や風景の消失、農地の荒廃等々
あげれば数限りありません。

私の年代が、集団就職の最後の世代でないかと思っています。中学時代に宮下駅で、
赤や青の紙テープを持って、担任の先生と同級生を見送った記憶があり、見送
られる同級生の手と、見送った我々の手に持たれた紙テープが、蒸気機関車の
大きな汽笛を鳴らして去っていく時、紙テープが切れる瞬間を忘れることがあ
りません。あれから約50年が経とうとしています。あの時の寂しさが脳裏を離
れることはありません。

今、「地方創生計画」や「町振興計画」樹立の原点は、温故知新の精神である
と考えます。我が町は諸先輩方が、歴史の中で蓄積し、継続していただいた「ま
ちづくり」を原点としてそれをさらに深化することであると考えます。諸計画
のキーワードは、「安全・安心」や「環境」そして「健康」や「総合性」である
と考えます。これらの視点から「ふるさと運動」や「地区プライド運動」「健康
づくり運動」「有機農業運動」そして「生活工芸運動」の精神性を大事にしなが
ら、時代に即した事業を構築していきます。

町づくりは「自分の足下の井戸を掘る」ことが我々に課せられた課題であり、
その事が次の世代に繋ぐ我々の責任であると確信しています。

ほめ言葉

そば口上（返しことば付き）

故 長谷川タケノさん（川井）

◎ 東西 とうざゝい とめおきまして 申しいでたるこの奴

ひとつ 人をばほめましよう ほめましよう

ひとつ ひまない このやつこ

ふたつ ふたばを ちゃんとり

みつつ みごとに もりしそば

よつつ よそーの むらまでも

いつつ 五段のそばならゆだんなく

むつつ むやみに あがらんせ

ななつ なだいの そばなれば

やつつ やしきの めでたさに

ここのつ このやの おいおいに

とおに とつくりと

◎ ただ今の御祝い どこのどなたかだれさんか

ものに例えてみるならば

頃は三月中のころ 梅の古木にうぐいすが

羽交いやすめて ほーほけきよと音をいだす

それを聞き分けし弁財天の琴の音が

牛若丸の青葉の笛の音が

はるかはるかに 勝るべし

ほほうゝ 敬つて申し上げまゝす

お詫びと訂正

8月7日発行の「広報みしま」8月号10ページの民話
「舌切りすずめ」の元話氏名に誤りがありましたので、
訂正し、深くお詫び申し上げます。

正：元話 杉本 ミツイさん（桧原）

誤：元話 杉本 ミツイさん（西方）

ゝ外来看護師のつぶやきゝ

宮下病院

主任看護技師 伊藤岐子



例年になく暑い日が続いておりますが、皆様はいかがお過ごしですか？今後も
暑い日が続くことが予想されますので、熱中症には十分ご注意ください。特に高齢
者の方は喉の渇きを感じにくい、暑さを感じにくい、汗を感じにくいなどの特徴が
あります。そのため、自覚がないのに熱中症になる危険性があります。

熱中症にならないために、以下の対策をしてください。

①室温をこまめにチェックしてエアコンや扇風機を使用する。

②喉が渇かなくても水分補給。

③調子が悪いと感じたら、家族や近くの人にそばにいてもらい、涼しい場所で安
静にする。

暑い夏、無理をせずにお過ごしください。

ご寄附

ありがとうございました

町への寄附（ふるさと納税）

五十嵐 建 次 様（神奈川県横浜市）

二 瓶 満 様（東京都中央区）

長谷川 市 雄 様（会津美里町）

町社会福祉協議会への寄附

ご遺志によるもの

五十嵐 豊 一 様（西方）

福島県立医大・大学院生(修士・看護)募集

福島県立医科大学大学院看護研究科では、平成 28 年度入学の大学院生の募集を行います。なお、詳細については下記のとおりです。

- 募集領域 「がん」「家族」「老年」「精神」「母性」「小児」「地域」の 7 看護学領域
- 秋季選抜試験 平成 27 年 10 月 24 日(土)
- 出願期間 平成 27 年 10 月 6 日(火)～ 10 月 13 日(火)
- 冬季選抜試験 平成 28 年 1 月 30 日(土)
- 出願期間 平成 28 年 1 月 12 日(火)～ 1 月 19 日(火)
- 福島県立医科大学 教育研修支援課看護学部教育係
☎ 024-547-1806

地域ふれあいサロン

サロンないり
9月9日(水) 名入公民館

弁護士相談
9月17日(木) 10:00～15:00 福寿草

町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

県立宮下病院看護師募集のお知らせ

へき地医療の拠点として地域の皆様に必要な医療を提供している「県立宮下病院」では、平成28年4月1日付け採用の看護師を募集しています。公務員として、公共の医療施設で働きたい、患者一人ひとりと向き合った看護がしたい方にピッタリの職場です。試験日程等は次のとおりです。

- 受験資格 昭和 5 1 年 4 月 2 日以降生まれで、看護師免許を有するか取得見込みの方
- 試験月日 平成 2 7 年 1 0 月 1 7 日(土)
- 応募締切 平成 2 7 年 1 0 月 9 日(金)
※応募書類必着
- 募集人員 若干名
- 試験会場 アピオスペース (会津若松市)
- 合格発表 平成 2 7 年 1 1 月 2 日(月)
※試験の受験案内は、お電話いただければ郵送いたします。
- 福島県病院局 病院経営課 ☎ 024-521-7226 (直通)
福島県立宮下病院 ☎ 0241-52-2321 (代表)

9月の納税

納期限 9月30日

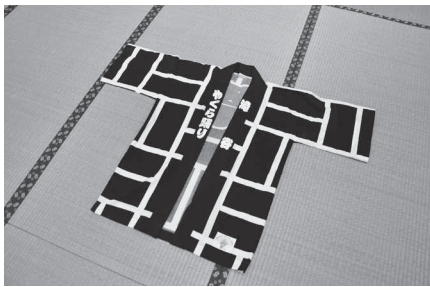
▶国民健康保険税 第3期
▶介護保険料(普通徴収)第3期
▶後期高齢者保険料(普通徴収)第3期

忘れずに納付ください。
役場 町民課

滝谷地区で櫓踊り用備品を整備

平成27年度コミュニティ助成事業で購入しました

今年度のコミュニティ助成事業で、滝谷地区において地区住民の交流を深めるため、櫓踊り用品を購入し、8月13日、お盆櫓踊りを開催しました。当助成事業は、例年秋ごろに次年度の事業募集が行われます。募集につきましては、広報みしま「お知らせ版」にて掲載いたします。各地区で住民が自主的に行う交流促進を図り、地域の連帯感に基づく取り組みにつながる設備の整備(備品の購入など)計画がありましたら、役場 地域政策課 ☎ 48-5533 までご相談ください。
※コミュニティ助成事業は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業の活用により、宝くじ受託事業収入を財源として行っているものです。



国勢調査 2015

スマート国勢調査!

全国一斉インターネット回答をスタートします!

データの向こうにドラマがある

5年に1度の大調査!!

国勢調査が、進化しました!

今回の調査は、パソコン・タブレット・スマートフォンからもご回答いただけます!

いつでもどこでも、便利に回答。
パソコン、タブレット、スマートフォンでの回答を可能に!!

インターネット回答は

9月10日～20日

いつでもどこでも、便利に回答。
インターネット回答がなかった
世帯には調査員が調査票をお配りいたします!!

調査票での回答は

10月1日～7日

9月10日～9月12日 インターネット調査票の回収期

9月10日～9月20日 インターネット調査票の回収期

9月26日～9月30日 調査票の回収期

10月1日～10月7日 調査票の回収期

回答いただいた情報は厳重に保護されます。国勢調査は「統計法」で厳格な情報保護が定められています。回答いただいた内容は統計以外の目的に使用することはありません。

国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とした、国の最も重要な統計調査です。

調査結果は、福祉施設や防災計画、生活環境の改善をはじめとした日本の未来をつくるために欠かせない様々な施策の計画づくりなどに役立てられます。
マンションなどの集合住宅にお住まいの方、管理費の方におかれましても調査への同意、ご協力をお願いいたします。

国勢調査コールセンター

0570-07-2015 IP電話の場合:03-4330-2015

設置期間:平成27年8月24日から10月31日まで

※ナビダイヤルの通話料金は、一般の固定電話の場合、全国一律に市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHSの場合、それぞれ所定の通話料金となります。
※IP電話利用電話番号の通話料金は、所定の通話料金となります。

国勢調査2015キャンペーンサイトにてスペシャルムービー公開中!!

くわしくは 国勢調査2015 検索

http://kokusei2015.stat.go.jp/

国勢調査をよそおった「かたり調査」にご注意ください。
調査員は、「国勢調査員証」を身に付けています。不審に思われた場合には、市区町村の国勢調査係までお問い合わせください。

総務省統計局・都道府県・市区町村からのお知らせです



人と暮らしの風景 齋藤茂樹写真展

期間 平成27年9月5日
～9月27日



昭和33年から
40年代
50年代を
記録した写真です

* トークショー *

9月5日(土)
午前10時から
交流センター
山びこ
イベントホール

三島町交流センター山びこ
ギャラリーホール

入場料 町民無料・町外大人⇒300円・町外65才以上⇒150円・高校生以下⇒無料

*休館日 9月7日 14日 24日 *開館時間9時～17時(最終入館16時30分)

主催 三島町教育委員会 交流センター山びこ

三島の初戦は9月19日(土) 国見町と対戦 第9回市町村対抗福島県軟式野球大会



◆初戦 三島町 対 国見町
9月19日(土) 第3試合(11:30 試合開始)
◆会場 しらさわグリーンパーク野球場(本宮市)
町代表として8回目の出場となり、早朝・夜間練習を行い、近隣町村との練習試合で試合経験を積み、柳津町を会場に開催された4町村対抗軟式野球大会に出場するなど、初戦突破を目指し頑張っています。今年度は、昨年のメンバーに加え、新たに町内在住の野球経験者を登録し、若い選手が揃い、打たせてアウトを取り、つなぐバッティングでチーム一丸となり大会に臨みます。
ぜひ、町民の皆さまの応援をお願いします。

【三島町チーム登録者】▶監督兼選手=舟木孝幸(桑原)▶主将=二瓶健嗣(名入)▶投手=板橋洋平(宮下)、柴崎仁志(宮下)、西恭平(宮下)▶捕手=三瓶裕(宮下)▶内野手=佐久間伸也(滝原)、五十嵐豊明(会津坂下町/西方出身)、二瓶祐也(会津若松市/名入出身)、小松順哉(西方)、小松翼(西方)、諏訪透(大谷)▶外野手=山内大介(西方)、佐久間秀実(滝原)、三浦健太郎(宮下)、五十嵐淳(宮下)、青木武彦(中平)、五十嵐健二(宮下)、長谷川駿(宮下)、阿部将(滝谷)、小松瑛司(西方)、目黒裕邦(滝谷)

第27回ふくしま駅伝大会 11月15日号砲 合同チーム「希望ふくしま」3回目の出場に向け結成

第27回ふくしま駅伝大会は11月15日(土)に開催されます。第25回大会より、合同チーム「希望ふくしま」を結成し、今大会で3回目の出場となります。昨年は52チーム中33位相当の成績を残しました。今年度は、7月20日に結団式を開催し、コーチングスタッフと選手達の初顔合わせ、合同練習を行いました。今後は毎月1回の合同練習会、各種マラソン大会に出場し、選手の選考を行い、選手間の絆と結束を強め、大会での活躍が期待されます。当町からは昨年から引き続き、菅家功さん(大槻中教諭・高清水出身)、北館亮さん(教育委員会・西方)の2名が選手登録し、自主トレーニングをしていますので、見かけた際は応援してください。



<各町村登録選手数>

三島	金山	昭和	湯川	川内	葛尾	桧枝岐	合計
2名	7名	2名	7名	5名	2名	1名	26名

平成二十七年 度

三島町成人式



交流センター山びこ前で記念撮影



誓いの言葉を述べた高橋優二さん（宮下）



学び舎訪問の様子（小学校にて）

三島町成人式は8月15日、交流センター山びこで行われ、矢澤町長から新成人16名に成人証書と記念品が手渡されました。新成人を代表して高橋優二さん（宮下）が誓いの言葉を述べました。式典終了後は記念撮影、新成人と恩師の先生方で、学び舎訪問（三島小・中）を行い、その後行われた祝賀会では、久しぶりに会った友人や恩師と近況を語り合い、再会を喜んでいました。

平成二十七年 度新成人名簿

森田	酒井	長谷川	五十嵐	山口	小柴	小林	板橋	角田	阿部	栗城	大竹	羽田	長谷川	高橋	山内	二瓶	二瓶	二瓶
明日香（川井）	絢美（大登）	美香（西登）	百恵（松原）	結佳（名入）	豊実（宮下）	亮（滝原）	将規（早戸）	裕太（松原）	浩太（宮下）	克明（滝谷）	真也（西井）	光（川井）	優二（宮下）	祐太（西井）	知生（名入）	敦（桑原）	孝章（西井）	孝章（西井）